

学校教育制度の推進にあたって

本章においては、小中一貫教育制度や宮未来フロンティア制度を推進するにあたって、次のような課題が考えられる。

1 人的配置

小中一貫教育推進のためには、現行教職員の過度の負担にならないよう、次のような人的配置が必要である。

- 地域学校園内で小中一貫教育を推進するためのコーディネーター
- 会話科，英会話科指導のためのALT
- 教育相談のためのスクールカウンセラー
- 教科担任制を推進するための指導助手

2 小中一貫推進体制の整備

教育内容や指導方法の見直し，教育課程の編成，人事異動のシステム構築などを推進するため，体制を整備することが必要である。

3 市内教員の異動システムの構築

9年間を通して子どもの発達段階に応じた指導を展開するためには，小中学校の教員が子どもや教育に対して共通の考えをもつことが不可欠であり，教員が小中学校間を異動できるシステムを構築する必要がある。

4 関係機関との連携

人的配置や異動システムを構築するためには，県教育委員会との連携が必要であり，今後，定期的な情報交換会を実施していく必要がある。また，今後，教職員の人事権移譲の実現にむけて制度研究を進める必要がある。

5 9年制教育学校の整備

9年制教育学校の設置場所，地域住民の合意形成，用地取得や施設整備の在り方などの検討が必要である。